

北國が首位快走、オムロンは3位に後退

～第36回日本ハンドボールリーグ・第10週～

第36回日本ハンドボールリーグ・第10週は1月21、22日に鹿児島などで女子3試合が行われ、ここまで2位につけていたオムロンが4位のソニーセミコンダクタに1点差で敗れて3位に後退した一方、首位の北國銀行はH C名古屋に順当勝ち、広島メイプルレッズは三重バイオレットアイリスを30-22と一蹴して2位に浮上した。

21日鹿児島でのソニー・オムロンは、ソニーにとって今シーズン初のホーム戦。熊本からの応援団とソニー応援団の声援でコート上やベンチからの声も通らないほどの熱気の中でスタートした。ソニー・張素姫のカットインシュートで始まったこの試合、オムロンが東濱、藤井で加点すれば、ソニーは山野、張らで対抗し、互角のすべり出しとなった。オムロンは10分過ぎに金且妍を投入すると、稲葉のミドルシュート、カットインが決まりだし、オムロンに流れが傾きかけたが、ソニーは黒木退場のピンチにG K中島がオムロン・藤井の7mスローをシャットアウト、その後は一進一退の攻防が続き12-11とソニーリードで前半終了。後半もスタートから両チーム激しい攻防の応酬となり、オムロンが22分20-19と1点リード。ここからソニーは懸命のディフェンスで失点を防ぐと、24分から山野、山田、内富の3連打で逆転に成功、オムロンも金の得点で1点差に詰め寄るが、ソニーは残り1分に錦織が貴重な追加点を奪い、オムロンの反撃を振り切って23-22で競り勝った。

22日愛知での名古屋-北國は、前半9分までは名古屋が阪本のポストシュートや伊藤のサイドシュートなどで3-4と首位の北國相手に食い下がっていたが、10分を過ぎたあたりから北國が一気に攻勢に転じ、上町の7mスロー、仲宗根のカットイン、石野の速攻など多彩な攻撃で着実に加点、その後の名古屋を2得点に封じ、16-5とリードして前半を折り返した。後半も北國は石野の速攻、上町のバウンドパスを受けた小野澤のポストシュート、八十島のサイドシュートなどで次々と得点を重ね、12分25-7として勝利を不動のものとした。名古屋は後半開始早々、軸の高橋瑛が3回目の退場で失格となったこともあり、攻撃の中心が細田、横井に片寄り、思うような戦いができなかった。

同日三重での三重-広島は、前半立ち上がり、石坂のミドルシュート、早船のサイドシュートで好スタートを切った三重に対し、広島は新城のサイドシュート、宋海林の2本の7mスローなどで追いつくと、その後も早川のサイドシュート、大前のミドルシュートなどで主導権を握り、14-11と3点リードで前半を終えた。後半に入り、5分を過ぎたあたりから三重にパスミス、オーバーステップなどが目立ち始め、広島は新城の速攻や早いパス回しからのポストシュートなどでじりじりとリードを広げ、30-22と8点差をつけて勝利を握った。三重も最後まで粘りを見せたが、エース早船の負傷退場も響き、地元三重での初戦を白星で飾ることができなかった。

次週も女子3試合が行われ、首位を快走する北國がオムロンを破って勢いづくソニーをホーム石川に迎え撃つほか、2位の広島と3位のオムロンが火花を散らす好カードが組まれている。三重-名古屋も接戦が予想される。



④名古屋に圧勝して首位をひた走る北國・石野
⑤オムロンを破りプレーオフ戦線に踏みとどまったソニー・黒木

第11週の日程

1月28日(土)	三重 四日市市中央緑地体育館(近鉄線四日市駅バス[中央緑地公園前]下車徒歩10分)	14:00~	(女)	三重バイオレットアイリス × H C 名古屋
	広島 中区スポーツセンター(広電広電本社前駅徒歩3分)	14:00~	(女)	広島メイプルレッズ × オムロン
1月29日(日)	石川 金沢市総合体育館(JR北陸本線金沢駅バス25分)	15:00~	(女)	北國銀行 × ソニーセミコンダクタ

◆ 1月21日(土) 女子
鹿児島・霧島市国分体育館

ソニーセミ
コンダクタ 23 (12-11) 22 オムロン
4勝0分3敗 11-11 4勝1分2敗

<1/3>	K	中	島	藤	間	K	<0/3>
2/2	4/9	山	野	澤	田	0/0	
	1/1	山	田	高	田	4/5	
	1/4	高	橋	卷		0/0	
	0/0	山	田	稲	葉	7/9	
	0/0	工	藤	藤	井	5/9	2/3
1/1	3/6	儀	間	石	立	0/5	
	0/0	古	川	吉	田	0/0	
	0/0	川	崎	久	野	0/0	
	3/3	黒	木	永	田	0/0	
	K	飛	田	山	中	K	
	0/0	石	井	勝	連	0/3	
	K	南		前	田	0/0	
	4/7	錦	織	松	本	0/1	
	3/9	張	素	東	濱	2/3	
	1/4	内	富	金	且	2/3	

3/3 20/43 10(FPP)9 20/38 2/3
審判(池瀨・檜崎) 観客 785人

◆ 1月22日(日) 女子
愛知・愛知県体育館

北國銀行 36 (16-5) 12 HC名古屋
6勝1分0敗 20-7 0勝0分7敗

<0/2>	K	寺	田	近	藤	K	<1/4>
	1/1	若	泉	伊	藤	1/4	
6/9	4/5	上	町	佐	藤	0/1	
	4/7	石	野	高	橋	1/8	
	5/5	小	野	鈴	木	0/5	2/2
	0/0	横	嶋	細	田	0/6	
	1/2	後	藤	阪	本	2/2	
	3/4	翁	長	高	橋	3/4	
	K	田	代	家	城	K	<2/5>
	4/7	仲	宗	横	井	2/6	
	0/2	野	路	井	本	1/1	
	5/6	八	十				
	3/4	若	松				
	0/0	屋	嘉				

6/9 30/43 7(FPP)18 10/37 2/2
審判(佐々木・高原) 観客 698人

◆ 1月22日(日) 女子
三重・鈴鹿市立体育館

広島メイブ
ルレッズ 30 (14-11) 22 三重バイオレ
ットアイリス
5勝0分2敗 16-11 1勝0分6敗

	K	堂	面	浅	井	K	<0/4>
	0/0	土	屋	横	川	1/1	
	0/2	村	山	石	黒	3/4	
	0/1	河	田	大	山	1/3	
	4/6	大	前	阿	久	4/9	
3/4	1/8	宋	海	石	坂	7/11	
	2/2	菅	野	飯	田	0/1	
	5/7	早	川	石	川	0/0	
	0/1	呉	成	毛	利	K	<1/3>
	0/1	五	月	黒	川	0/0	
1/1	1/2	安	齋	漆	畑	4/7	
	7/12	高	山	伊	藤	0/0	
	K	田	口	村	尾	1/1	
2/2	4/6	新	城	早	船	1/3	

6/7 24/48 5(FPP)6 22/40 0/0
審判(永春・安田) 観客 1850人



得点王レースのトップに立つ北國・上町



シュート率争い1位のソニー・錦織

第3回チャレンジ・ディビジョン

1月14日にブロックリーグが終了した第3回チャレンジ・ディビジョンは、1月28、29日にトヨタスポーツセンター第1体育館(愛知県豊田市)で決勝トーナメント及び3位以下のチームによる順位決定トーナメントが行われる。

決勝トーナメント準決勝は2連覇を狙うHC岐阜(Aブロック1位)とOSAKA SELECTION(Bブロック2位)、Honda(Bブロック1位)と大同大学(Aブロック2位)が対戦。順位決定トーナメント1回戦はトヨタ自動車×同朋クラブ、セントラル自動車×岐阜聖徳学園大学、HC春日井×HC・MKA奈良、TOYAMA選抜×八光自動車のカードが組まれている。

29日は10:00より9-10位と11-12位決定戦がスタートし、11:45より5-6位と7-8位決定戦、13:30より決勝と3-4位決定戦が行われる。

男子強化キャンプ開催

第15回男子アジア選手権(1月26日～2月5日、サウジアラビア)のプレイク期間を利用して「男子強化キャンプ」が1月20日から22日まで北陸電力福井体育館フレア(福井県)で開催され、日本リーグ所属の7チームとチャレンジ・ディビジョンの2チームが参加して練習試合を行った。

とくに若手選手に実戦経験を積む機会を増やすことにより、選手個々、各チームの全体のレベルアップを図るとともに、レフェリーの研修も併せて実施した。

30分のゲームを次々とこなした結果、6戦全勝のトヨタ車体をはじめ、大崎電気らが好成績を残し、選手層の厚さをアピールした。

- 〈参加チーム〉
- ◇日本リーグチーム：大崎電気、湧永製薬、大同特殊鋼、トヨタ紡織九州、トヨタ車体、豊田合成、北陸電力
 - ◇チャレンジ・ディビジョンチーム：セントラル自動車、HC岐阜
- ▽1月20日
- トヨタ紡織九州 17-15 豊田合成
 - トヨタ車体 21-18 豊田合成
 - 大崎電気 14-13 トヨタ紡織九州
- ▽1月21日
- トヨタ紡織九州 19-11 セントラル自動車
 - 大崎電気 11-10 大同特殊鋼
 - 大崎電気 19-12 豊田合成
 - 大同特殊鋼 17-10 セントラル自動車
 - 大同特殊鋼 13-6 北陸電力
 - トヨタ車体 20-14 大崎電気

- 湧永製薬 15-13 北陸電力
 - 豊田合成 15-14 大同特殊鋼
 - 湧永製薬 16-8 豊田合成
 - トヨタ車体 12-10 湧永製薬
 - 北陸電力 14-8 セントラル自動車
 - HC岐阜 11-8 北陸電力
 - トヨタ車体 21-8 HC岐阜
 - 豊田合成 17-14 HC岐阜
 - 湧永製薬 20-14 トヨタ紡織九州
 - トヨタ紡織九州 13-12 HC岐阜
 - トヨタ車体 18-15 トヨタ紡織九州
 - 大崎電気 21-9 セントラル自動車
- ▽1月22日
- 大崎電気 13-12 湧永製薬
 - トヨタ車体 17-13 北陸電力
 - セントラル自動車 12-12 豊田合成
 - 大同特殊鋼 22-6 セントラル自動車

男女個人ランキング 第10週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 79点 (11試合)	1 上町 史織 (北國銀行) 56点 (7試合)
2 東長濱 秀希 (大崎電気) 68点 (11試合)	2 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ) 51点 (7試合)
3 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州) 66点 (11試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン) 48点 (7試合)
3 野田 祐希 (豊田合成) 66点 (11試合)	4 錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ) 34点 (7試合)
5 村山 裕次 (琉球コラソン) 59点 (11試合)	5 高山 智恵 (メイプルレッズ) 33点 (7試合)
6 東長濱 秀作 (湧永製薬) 58点 (11試合)	6 高田 裕梨 (オムロン) 30点 (7試合)
6 樋口 睦 (湧永製薬) 58点 (11試合)	6 石立 真悠子 (オムロン) 30点 (7試合)
8 小澤 広太 (大崎電気) 56点 (11試合)	6 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 30点 (5試合)
9 富田 恭介 (トヨタ車体) 52点 (11試合)	9 樋口 真央 (北國銀行) 29点 (6試合)
9 宮崎 大輔 (大崎電気) 52点 (11試合)	9 石坂 美奈子 (バイオレットアイリス) 29点 (7試合)
9 切越 巧也 (北陸電力) 52点 (11試合)	9 宋 海林 (メイプルレッズ) 29点 (7試合)
12 佐藤 智仁 (湧永製薬) 51点 (11試合)	9 早船 愛子 (バイオレットアイリス) 29点 (7試合)
12 武田 享 (大同特殊鋼) 51点 (11試合)	13 張 素 姫 (ソニーセミコンダクタ) 28点 (7試合)
14 山城 貴志 (大同特殊鋼) 50点 (11試合)	14 新城 明奈 (メイプルレッズ) 26点 (7試合)
15 赤塚 孝治 (北陸電力) 49点 (11試合)	15 早川 志歩 (メイプルレッズ) 25点 (7試合)

フィールド得点

1 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 78点 (11試合)	1 上町 史織 (北國銀行) 41点 (7試合)
2 小澤 広太 (大崎電気) 56点 (11試合)	2 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ) 38点 (7試合)
3 富田 恭介 (トヨタ車体) 52点 (11試合)	3 高山 智恵 (メイプルレッズ) 33点 (7試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気) 52点 (11試合)	4 藤井 紫緒 (オムロン) 31点 (7試合)
3 野田 祐希 (豊田合成) 52点 (11試合)	5 錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ) 30点 (7試合)
3 村山 裕次 (琉球コラソン) 52点 (11試合)	5 高田 裕梨 (オムロン) 30点 (7試合)
3 切越 巧也 (北陸電力) 52点 (11試合)	5 石立 真悠子 (オムロン) 30点 (7試合)
8 佐藤 智仁 (湧永製薬) 51点 (11試合)	8 石坂 美奈子 (バイオレットアイリス) 29点 (7試合)
8 武田 享 (大同特殊鋼) 51点 (11試合)	8 早船 愛子 (バイオレットアイリス) 29点 (7試合)
10 山城 貴志 (大同特殊鋼) 50点 (11試合)	10 樋口 真央 (北國銀行) 28点 (6試合)
	10 張 素 姫 (ソニーセミコンダクタ) 28点 (7試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 富田 恭介 (トヨタ車体) 52点/68射 0.765	1 錦 織 新 (ソニーセミコンダクタ) 30点/41射 0.732
2 山城 貴志 (大同特殊鋼) 50点/71射 0.704	2 高山 智恵 (メイプルレッズ) 33点/48射 0.688
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 78点/112射 0.696	3 高田 裕梨 (オムロン) 30点/44射 0.682
4 佐藤 智仁 (湧永製薬) 51点/75射 0.680	4 石立 真悠子 (オムロン) 30点/51射 0.588
5 小澤 広太 (大崎電気) 56点/89射 0.629	5 樋口 真央 (北國銀行) 28点/49射 0.571
6 宮崎 大輔 (大崎電気) 52点/92射 0.565	6 上町 史織 (北國銀行) 41点/72射 0.569
7 野田 祐希 (豊田合成) 52点/102射 0.510	7 張 素 姫 (ソニーセミコンダクタ) 28点/53射 0.528
8 武田 享 (大同特殊鋼) 51点/104射 0.490	8 石坂 美奈子 (バイオレットアイリス) 29点/55射 0.527
9 村山 裕次 (琉球コラソン) 52点/112射 0.464	9 藤井 紫緒 (オムロン) 31点/66射 0.470
10 切越 巧也 (北陸電力) 52点/121射 0.430	10 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ) 38点/83射 0.458

7mスロー得点

1 東長濱 秀希 (大崎電気) 21点 (11試合)	1 藤井 紫緒 (オムロン) 17点 (7試合)
2 木切倉 真一 (トヨタ車体) 18点 (11試合)	2 上町 史織 (北國銀行) 15点 (7試合)
2 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州) 18点 (11試合)	3 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ) 13点 (7試合)
4 野田 祐希 (豊田合成) 14点 (11試合)	4 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 8点 (7試合)
4 東長濱 秀作 (湧永製薬) 14点 (11試合)	5 鈴木 身江子 (H C 名古屋) 6点 (7試合)
	5 宋 海林 (メイプルレッズ) 6点 (7試合)
	5 新城 明奈 (メイプルレッズ) 6点 (7試合)
	5 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 6点 (5試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志 (琉球コラソン) 8本/19射 0.421	1 堂面 妙子 (メイプルレッズ) 5本/12射 0.417
2 松村 昌幸 (湧永製薬) 5本/12射 0.417	2 家城 千香 (H C 名古屋) 5本/16射 0.313
3 藤堂 聖二 (豊田合成) 4本/13射 0.308	3 近藤 澄江 (H C 名古屋) 4本/14射 0.286
4 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州) 4本/17射 0.235	4 藤間 かおり (オムロン) 4本/16射 0.250
5 志水 孝行 (湧永製薬) 2本/11射 0.182	5 浅井 友可里 (バイオレットアイリス) 3本/15射 0.200

第36回日本ハンドボールリーグ成績表 第10週終了 1月22日

順位	男子	大崎電気	大同特殊鋼	トヨタ車体	湧永製菓	トヨタ紡織九州	琉球コラソン	豊田合成	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	○ ○	○ ○	●	● ○	○ ○	○	○	○ ○	11	9	0	2	18	380	308	72
2	大同特殊鋼	● ●	○ ○	△ ○	○ ○	○	○	○	○ ○	11	8	1	2	17	341	281	60
3	トヨタ車体	○	△ ●	○ ○	● ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	11	8	1	2	17	361	275	86
4	湧永製菓	○ ●	● ●	○ ●	○ ●	○	○	● ○	○ ○	11	6	0	5	12	329	313	16
5	トヨタ紡織九州	● ●	●	●	●	○ ●	○ ●	○ ○	○ ○	11	5	0	6	10	334	334	0
6	琉球コラソン	●	●	● ●	●	● ○	○ ○	○ △	○ ○	11	4	1	6	9	266	301	-35
7	豊田合成	●	●	● ●	○ ●	● ●	● △	○	○	11	2	1	8	5	288	346	-58
8	北陸電力	● ●	● ●	●	●	● ●	● ●	●	○	11	0	0	11	0	241	382	-141

順位	女子	北國銀行	広島メイプルレッズ	オムロン	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行	○ ○	○ ○	△ ○	○	○	○ ○	7	6	1	0	13	224	140	84
2	広島メイプルレッズ	●	○ ○	●	○ ○	○ ○	○ ○	7	5	0	2	10	189	154	35
3	オムロン	△ ●	○	○ ●	○ ●	○	○	7	4	1	2	9	208	141	67
4	ソニーセミコンダクタ	●	●	● ○	○ ○	○ ○	○	7	4	0	3	8	197	181	16
5	三重バイオレットアイリス	●	● ●	●	● ●	○	○	7	1	0	6	2	148	221	-73
6	H C 名古屋	● ●	● ●	●	●	●	○	7	0	0	7	0	96	225	-129

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。